

行政視察等報告書

平成28年2月4日

米子市議会議長様

会派名 信風
 (代表者)氏名 伊藤ひろえ
 (提出者)氏名 稲田清



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	稲田清 計 1 人
期日	平成28年1月27日から平成28年1月29日まで
[概要] (年月日・場所・内容) 平成28年1月27日 (移動) 平成28年1月28日 リファレンス駅東ビル (福岡市博多区) 「自治体財政集中講座 in 博多」 ・地方財政制度と自治体財政 ・自治体の予算の見方 平成28年1月29日 リファレンス駅東ビル (福岡市博多区) 「自治体財政集中講座 in 博多」 ・決算カードフル活用	
[所感] 別紙のとおり	
経費	旅費総額 95,748円

■自治体財政集中講座 in 博多

1 地方財政制度と自治体財政

(1) 年月日：平成28年1月28日（木）10：00～12：30

(2) 場 所：福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル

(3) 所 感

国と地方自治体との財政関係は税収では「55：45」であるのに対し、歳出では「41：59」となっており不均衡が生じている。この不均衡の是正、すなわち国から地方への財源措置という行為が必要となり、それが地方財政制度へとつながっている。国は、2020年にプライマリーバランスの黒字化することを国際公約に掲げており、景気浮揚等による税収増で賄えばよいが、そうならないとすれば、地方への財源措置も減少することが予想される。よって地方自治体は、国への依存度を少しでも解消する動きに、より転じていく必要に迫られていくであろうし、今後は事業等のより一層の見直しが生じる。例えば「長年継続している事業に無駄はないか」、「スクラップアンドビルドは適正に行われているか」等の観点から予算を見ていく必要がある。その際、「事業シート」を有効に活用すべきである。事業シートとは、一つの事業に対し、PDCAサイクルがどのように回ったかを表すものであり、米子市はその導入に至っていない。そこから改善をはじめたいと思う。

2 自治体の予算の見方

(1) 年月日：平成28年1月28日（木）14：00～16：30

(2) 場 所：福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル

(3) 所 感

総務省のホームページに「財政状況資料集」というものがあり各自治体の類似団体との財政力の比較が可能となっている。特に米子市の場合、平成25年度の数値において、88ある類似団体のうち、将来負担率が162.2%で86位、実質公債費比率が18.6%で87位と非常に厳しい状況である。将来負担率とは、地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標ともいえ、米子市では一般会計の約1.6年分の予算を投じないと借入金が増え続ける。また、実質公債費比率とは、借入金（地方

債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標ともいえ、年間に予算全体の18.6%を返済に充当しなければならず、同じく財政状況の厳しさを露呈している。平成26年度にはそれぞれ多少良化しているが、改善の余地が多分にある状態である。

3 決算カードフル活用

(1) 年月日：平成28年1月29日(金) 10:00~12:30

(2) 場 所：福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル

(3) 所 感

決算カードとは、各年度に実施した地方財政状況調査の集計結果に基づき、普通会計歳入・歳出決算額、各種財政指標等の状況について、各団体ごとに1枚のカードに取りまとめたものである。カードの中で着眼すべき点は多々あるが、米子市の場合、平成25年度において経常収支比率において99.9%という極めて厳しい財政状況である点と言える。(因みに、臨時財政対策債を含んだ場合、91.0%)無論、税収が増えていけばいいのであるが、現状では法人税が6.9%と芳しくない数字と言える。企業進出は年間1社の割合という実績を積んでいるが、それに加えて地元企業への支援等へも実績を積みなければ良化する見込みが薄いと言える。また人口減少社会であるので、水道や国民健康保険といった「人口に直結している会計」への繰出金の推移も注視すべきである。人口の減少に比例して縮小傾向とならなければならないが、赤字補填のみに無尽蔵に使われないように注意が必要である。